

タトト「2021年度実用英語(公用語、コロナ対策)」、フォルタ「(日本語)
シラバスの翻訳は下となります。

[編集]

開講科目	英語 I (RMGT/SSCS1702)	
実務 I		
担当教員	竹尾 竜也	
学年	1年	
性別	男	
座席番号	1203	
連絡先	連絡	
RIZN会員登録	未登録	
RIZN会員登録	未登録	
RIZN会員登録	登録	
科目介紹	■ Dコドモ学場のゴールを示すディプロマモリシートの認定 D 1-D (市民的素養・市民的義務) 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を磨く D 2-D (日本と諸文化を通じて多様な価値観を学ぶ姿勢) 地域的視点で物事を多角的に捉え、異なる文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的にを行い、相互理解を促進した態度を構築することができる。 D 3-D (自己表現・分析・批判的思考) 分析的思考と批判的思考、分別思考と自己反省、分析思考と自己反省を行い、課題の解決につなげることができる。 D 4-D (実験的・探求的・創造的思考) 実験的思考で、自分の意見を明確に説き、他の意見を聞くことができる。	
科目の目標達成度付付 (算発成力)	■ Gスコア-学習目標に該当するマインドセット・ナレーシ・スキルを示すモデルループック (Cド) の開拓 D1 市民的素養と参加 (10 %) A1 互いの尊重 (5 %) A2 互いの理解 (5 %) I1 理解・分析・批判的思考 (2 %) K1 オーラル・コミュニケーション (30 %) K2 オーラル・コミュニケーション (30 %)	
教員の実務経験	■ 比較的開拓的思考能力を有するマインドセット・ナレーシ・スキルにより実践的で柔軟な方法を実現する。 成績ターゲット区分	
成績ターゲット区分	3 発展期へ支援型 2 成熟期へ支援型 1 独立期	
科目概要 - キーワード	英語の基礎力が強調し、コミュニケーションスキルの磨きをめざします。実際に必要な英語の発得や英語のメニズムについて学びながら、アクティビティ・グループワークを通して、実際の場面に沿った英語に慣れれます。授業は就労実習クラス編成により実践形式で実施します。なお、授業を補助するものとして、必要な応じて e-learning を使用します。 「キーワード」スピーキング・リスニング・英語・コミュニケーション	
授業の開講	■授業 Content (英語・書く・聞く・話す) 全年、アクティビティを通して、周囲まで学んだり検査・文法を復習して書きながら、英語に対する概念や学び方を身につけています。また自分の意見を英語で述べる練習および発表の機会を設け、次年度の学習に繋げます。 Through a variety of activities (reading, writing, listening, and speaking), students will review the vocabulary and grammar learned during secondary education and use them in communicative activities. The students will be encouraged to overcome any shyness they feel by using English in a friendly and supportive classroom environment. They will also practice expressing their thoughts and ideas in a concise but relevant manner. By the end of the course, students will develop proficiency in using practical English in everyday situations. This general English proficiency will be the basis for the future development of English academic skills. For more natural English conversations, the instructors will conduct classes using topics that students can relate to.	
授業料通知	■ 一般授業 (Gド) 大学教育においてヨーロッパ言語との比較で、英語を聞き取る様々な方法を実現し、コミュニケーションシールドとして積極的思考を引き出す能力(特に聞いて理解する力)を獲得する。 For comparative English in the university level, students must improve their conversation skills, usage of expressions, and pronunciation. In class, the students will practice using a variety of techniques to cover these skills. ■ 個別行動的授業 (Sド) 1. 日常会話で最も頻度の高い英単語、英熟語の意味を理解できる。(毎日:11) 2. 文章の意味を理解する力(文脈から意味を導く力)を身につける。(毎日:15) 3. 文章を読み取ることで、文章の構造を理解する。(毎日:11) 4. 簡単な会話を理解する力(会話の内容を理解する)。(毎日:11) 5. 簡単な会話を理解する力(会話の内容を理解する)。(毎日:11) 6. 英語のセイクリックな部分の発音を覚える。(セイクリック上の英語を覚える)。(毎日:10) 7. 英語のセイクリックな部分の発音を覚える。(セイクリック上の英語を覚える)。(毎日:10) 8. TOEIC Bridgeの問題に取り組む。(問題を解く)。(毎日:14, 15) 9. TOEIC Bridgeの問題に取り組む。(問題を解く)。(毎日:14, 15) 10. TOEIC Bridgeの問題に取り組む。(問題を解く)。(毎日:14, 15) 11. TOEIC Bridgeの問題に取り組む。(問題を解く)。(毎日:14, 15) 12. TOEIC Bridgeの問題に取り組む。(問題を解く)。(毎日:14, 15) 13. Review reading materials, conversational sentences, and expressions taken up in the class, and look up the meaning and usage of words in detail in dictionaries and reference books. (Lesson 1-15)	
成績評価方法	■ 通常評価 (Media report) D1: 10 %, A1: 5 %, A2: 2 %, K1: 20 %, K2: 30 % ■ 通常評価 (Written test / Media report) (2 %) 〔評議会の会〕期間中に提出を行なつか、文法・語彙・表現について評議しているか、トピックに対して測定的内容を表現しているか、規定されたフォーマットに沿った作成方法および提出となつたか。 〔フード(ライク)〕期間中に提出を行なつか、文法・語彙・表現について評議しているか、規定されたフォーマットに沿った作成方法および提出となつたか。 ■ 通常評議会 (Class discussion) (3 %) 〔評議会の会〕参加者が各個人にアドバイスを行なつてアドバイス(アドバイス)の提出を行なつて、成績度合いを把握します。 〔フード(ライク)〕期間中に提出を行なつか、文法・語彙・表現について評議を行なつて、成績度合いを把握します。 ■ TOEIC Bridge L&R (2 %) 〔評議会の会〕期間中に提出を行なつか、文法・語彙・表現について評議を行なつて、成績度合いを把握します。 〔フード(ライク)〕期間中に提出を行なつか、文法・語彙・表現について評議を行なつて、成績度合いを把握します。	
授業条件	英語で授業に参加すること。 Students must take English in this course.	
成績評価方法	1. レッスンヒーリングマリオはクラスのペースと標準の速度により変更になる場合があります。詳細は授業内でお知らせします。 Lesson topics may change depending on the level and progress made in the lesson. These changes and more detailed information will be announced in class. 2. オンライン・ボーラーを使い、英語と日本語で課題を行なうアクティビティコードを学習します。必ずアクティビションコードでの学習を購入してください。また、授業はキネクトのUSBに沿った内容で行ないますので、他国の授業に必ず接続してください。 An additional fee is required for the online activity code. Please make sure to purchase the activity code. The lesson goes according to the textbook. Students must have it with them at all times. 3. 携帯中のスマートフォンの用途は授業用英語表現を調べるために利用可とします。ただし、明らかに携帯用の音楽やゲームなどのサイトを利用、メッセージのやり取りを行なうなど他の課題を終わる前にいつては罰点を引く、減点評価とします。これはパソコンの専用についても同じです。 Students are allowed to use a mobile phone to search English words and expressions to catch up with the lessons; however, if instructors find that students are browsing unrelated websites, exchanging messages, or doing any other activity which disrupts their classmates' study, students could get a warning or even get a lower assessment score. The same guideline applies to laptops. 4. 旗印、課題の提出に間に合わせること。 Students must complete homework and assignment by their deadline. 5. 授業を欠席あるいは遅刻した場合は、問題・課題等の確認と各自の責任で担任を待って行なうこと。 Students are absent or late, it becomes their responsibility to confirm homework assignments or other material covered in the missed class. Being absent or late is no excuse for incomplete work. 6. 授業は生徒で行なうもの。 In this course, most exercises will involve the four basic language skills: reading, writing, speaking, and listening. A variety of interactive activities will be employed as well. Students must actively participate in each activity and cooperate with each other to complete the exercises.	
授業内容	開講科目	英語 I (RMGT/SSCS1701), 英語II (RMGT/SSCS1703), 英語III (RMGT/SSCS1704)
教材	Ken Beatty, StartUp Pearson. 2019. Student Book with Mobile App & MyEnglishLab ISBN 978-0-1351-79461 (Level 1), ISBN 978-0-1351-79430 (Level 4)	
参考書・参考URL	質問には、教科書の問題であります。その他の問題は教科書へ乗ることも可能です。	
連絡先・オフィスアワー	質問には、教科書の問題であります。その他の問題は教科書へ乗ることも可能です。	
研究会		